参考様式第5－2号

地域計画

策定年月日	令和7年3月24日
更新年月日	令和8年6月15日 （第2回）
目標年度	令和17年度
市町村名 （市町村コード）	松前町 （01331）
地域名 （地域内農業集落名）	松前地区（畜産振興地域・畑作地域） （ 畜産：高野・茂草・札前・館浜・建石）（畑作：上川 ）

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

（1） 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	453.36 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	453.36 ha
② 田の面積	12.24 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	441.12 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	47.72 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	47.72 ha
（備考）遊休農地7ha	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（2） 地域農業の現状及び課題

【現状】
当町の大きな問題は人口減少と高齢化が急速に進んでいることであり、令和27年には人口が2，000人を割り込み、高齢化率は65%以上となることが見込まれている。
当町の農業形態は畜産業が大きくシェアを占めており、黒毛和種の繁殖経営を12戸の農家が約250頭飼養し生産された子牛を家畜市場に出荷し評価を得ている。しかし、家畜市場の安値と飼料費や資材費の価格高騰により苦慮している状況にある。また、10年後には新規就農者による底上げはあるものの高齢化による離農が考えられ衰退が否めない状況にある。
畜産業の衰退を抑えるため、畜産業の就農環境づくりの拠点となる施設の整備を行い、令和元年度には肉牛改良センター整備プロジェクトにより「松前町肉牛改良センター」を整備し、新規就農者を育成するため研修生の受け入れを開始した。更に令和3年度には賃貸型牛舎整備プロジェクトにより「賃貸型牛舎を3棟」、令和5年度には賃貸型繁殖肥育一貫牛舎整備プロジェクトにより「賃貸型牛舎を3棟」整備し、新規就農時に生じる初期投資の負担を軽減させ安心して就農できる環境を整備している。なお、現在までに7名の研修生を受入れをし、4名の新規就農者が賃貸型牛舎により営農を開始されている。また、既存の農家への支援としては、肉牛改良センターで生産された子牛を入札制度により提供することで、経営の安定と所得の向上を支援している。
畑作農業に関しては、ハウス農家や花き農家はいるものの経営体は少なく高齢化による畑離れの状況にある。そのため、遊休農地化が進んでいる。
地域農家の年齢構成は、人・農地プランに登載されいる農家数は16戸で平均年齢は57．4歳であり、そのうち地域農業の主体となっている畜産業においては52．6歳となっている。
【課題】
・畜産農家の高齢化や後継者不在の現状では、離農や規模縮小による遊休農地の増加が懸念される。離農跡地等の再利用を考えるうえで、新規就農者の移転場所として離農跡地等の円滑な継承を図る体制や農地の集積による農地確保が必要となっている。
遊休農地化に歯止めをかけ畜産農家の底上げを図るうえでは、現在の賃貸型牛舎に使用期限を設け、集積された農地を斡旋し新天地での経営を後押しする体制が必要である。そのことにより、肉牛改良センター研修生の受け入れが可能となる。
・畑作農家の高齢化により遊休農地化が進んでいる。
・地域内の農地が集積されていない状況にあり、更には太陽光業者や風力開発業者の参入により農地の転用が進められているため、町として確保すべき農地を集約化する必要がある。
【基礎データ】
・農業者：16人（うち60歳以下 8人）
・認定農業者：6人
・認定新規就農者：4人
・主な作物：肉用牛、ハウス野菜、花き

（3） 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・地域農業の主要作物は肉用牛であり、肉牛改良センターを拠点とした優良繁殖牛及び市場価格が高い雄肥育素牛の増殖に取り組み、肉用牛生産基盤の強化を図り、子牛販売事業等により地域全体の収益の向上を実現する。
・新規就農者等の移転先として、館浜・札前地区に農地を集約し団地化を形成する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（1）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付を行いながら、新規就農者（認定新規就農者）の営農場所の確保が必要であるため農地の集積を進める。

（2）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	16.04 %	将来の目標とする集積率	22 %

（3）農用地の集団化（集約化）に関する目標

現在は団地化されていないが、今後、館浜・札前地区での団地化を検討している段階である。また、離農跡地や未使用農地を活用し団地化を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地化を進め農地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地の集積を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
所有者と協議の上で農地を農地中間管理機構に貸し付けをし、担い手の経営意向を考慮し段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
担い手のニーズを踏まえ、農地中間管理機構事業を活用し、農用地の基盤整備を実施する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
畜産業新規就業者支援による農家の確保し、関係機関と連携し繁殖経営に必要な知識と技術を習得させ、研修から就農まで一貫した育成を実施する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☑	①鳥獣被害防止対策	□	②有機・減農薬・減肥料	□	③スマート農業	□	④畑地化・輸出等	□	⑤果樹等
□	⑥燃料・資源作物等	□	⑦保全・管理等	□	⑧農業用施設	□	⑨耕畜連携等	□	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

エゾシカによる牧草の被害やヒグマによる農作物の被害が増加傾向にある。町で雇用してる有害鳥獣捕獲員による定期的な見廻りにより、農業被害の減少を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者(氏名・名称)	現状			10年後(目標年度:令和　年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	17経営体		453.36 ha	0 ha		453.36 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 （氏名・名称）	作業内容	対象品目
	該当なし		

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・%）	

注1：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和 17 年度）				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者	松　前　町	採草放牧地	421.54 ha	0 ha	採草放牧地	421.54 ha	0 ha		
2	認農	本　多　初　郎	牧場	11.65 ha	0 ha	牧場	11.65 ha	0 ha		認定農業者等
3	認農	堀　川　弘　毅	牧場	1.81 ha	0 ha	牧場	1.81 ha	0 ha		認定農業者等
4	認農	成　田　正　寿	牧場	1.12 ha	0 ha	牧場	1.12 ha	0 ha		認定農業者等
5	利用者	佐　藤　寛　暢	牧場	0.85 ha	0 ha	牧場	0.85 ha	0 ha		認定農業者等
6	認農	木　村　久　子	牧場	0.19 ha	0 ha	牧場	0.19 ha	0 ha		認定農業者等
7	利用者	二ッ谷　正　博	牧場	7.51 ha	0 ha	牧場	7.51 ha	0 ha		認定農業者等
8	認農	堀　川　一　寿	牧場	0.72 ha	0 ha	牧場	0.72 ha	0 ha		認定農業者等
9	認農	川　原　吉　見	牧場	2.01 ha	0 ha	牧場	2.01 ha	0 ha		認定農業者等
10	認就	竹　原　昌　生	放牧地	0.95 ha	0 ha	放牧地	0.95 ha	0 ha		認定農業者等
11	認就	種　村　駿　介	放牧地	1.21 ha	0 ha	放牧地	1.21 ha	0 ha		認定農業者等
12	認就	当　間　公　祐	放牧地	0.64 ha	0 ha	放牧地	0.64 ha	0 ha		認定農業者等
13	認就	中　馬　達　郎	放牧地	1.40 ha	0 ha	放牧地	1.40 ha	0 ha		認定農業者等
14	利用者	場　谷　　誠	花き	0.12 ha	0 ha	花き	0.12 ha	0 ha		認定農業者等
15	利用者	佐々木　行　雄	野菜	0.70 ha	0 ha	野菜	0.70 ha	0 ha		認定農業者等
16	利用者	荒　関　裕　子	野菜	0.69 ha	0 ha	野菜	0.69 ha	0 ha		認定農業者等
17	利用者	長谷川　雅　彦	野菜	0.25 ha	0 ha	野菜	0.25 ha	0 ha		認定農業者等